

第3次中泊町長期総合計画

令和8(2026)年度－令和17(2035)年度



《計画の目的を目指す姿》

- ▶ 私たちは、次の3つの重点項目を踏まえ、町民が誇れる、誰もが豊かに暮らし・過ごせる、世代を超えた住民が主役となるまちづくりを目指します。

- ①地域の特性を活かした新たな生業(なりわい)の創出
- ②住み続けたい町の再構築
- ③住民との協働によるまちづくり

《基本理念》

- ▶ これからのまちづくりの推進にあたっては、基本施策の柱として「しごと」、「暮らし」、「ひと」のそれぞれの観点から、より具体的かつ基本目標を掲げ、実効性の高い施策を、スピード感を持って次々と展開し、地域の絆を育むことにより、自然のもたらす恩恵を活かし、誰もがいきいきと活躍し、安心して豊かに暮らし続けられるまちを目指します。

《将来像》

『豊かな自然とともに創る、暮らす、

未来へつなぐ自立と協働のまち 中泊』

【基本政策1】しごと

主な取り組み



DX・スマート化による経営力強化

農業ではスマート農機導入や農地の集約化、漁業ではデータ活用やAIによる陸上養殖など、デジタル技術を活用し、生産性と経営力を向上させます。



6次産業化と販路拡大

農林水産物の付加価値を高めるフードテックや、農漁業のコラボ商品開発、ふるさと納税の推進により、所得向上と外貨獲得を目指します。



担い手確保と技術承継

スマート農業を学べる人材育成プログラムや就農相談会を実施し、新規就農者を支援します。また、熟練者から若手への技術・ノウハウの承継を促進します。



新産業の創出

ビジネスコンテストの活用や事業者間のマッチングの場を設けることで、多様な技術を活かした新たなものづくりやベンチャー企業の設立を支援します。

【基本政策 2】 暮らし

主な取り組み



小規模多機能自治による地域づくり

住民が主体となり、地域ごとの課題（防災、福祉、生活支援など）を解決する体制を構築します。理解促進のためのシンポジウムや、活動を促す地域ポイント制度を導入します。



安全・安心なまちづくり

自主防災組織の拡充や、災害時の電力確保に再生可能エネルギーを活用するなど、地域レベルでの防災力を高めます。また、水道・集落排水などのインフラを計画的に整備し、生活の安全性を確保します。



脱炭素社会の実現

地域エネルギー会社の設立、家庭への省エネ機器導入支援、EVカーシェアリングなど、産業と暮らしの両面から脱炭素化を推進します。



健康と賑わいの創出

健診受診率向上や介護予防の取り組みを強化し、住民の健康増進を図ります。また、湯らぱーくを拠点に、空き店舗の活用や世代間交流イベントを開催することで、中心市街地の活性化と賑わいづくりを目指します。

【基本政策3】ひと

主な取り組み



グローバル人材の育成

メタバースを活用したオンライン英会話や海外留学プログラムを構築し、実践的な英語教育を通じて国内外で活躍できる人材を育てます。



地域課題を解決できる人づくり

大学や地域おこし協力隊と連携し、地域課題の解決をテーマにしたインターンシップやワークショップを実施することで、住民の主体的な学びと人材育成を促進します。



安心して子育てできる環境整備

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供するため、子ども家庭センターを軸としたネットワークを構築します。また、保育料や医療費の助成により経済的負担を軽減します。



多様な人材の活躍促進

移住者向けの支援戦略を策定し、受入態勢を充実させます。また、外国人材の積極的な活用や、ユニバーサルデザインの推進、高齢者のボランティア活動支援を通じて、誰もが生きがいを持って活躍できる社会を目指します。

「2050年中泊町未来予想図」

< 中泊町全体 >



< 中里地域 >



<小泊地域>



<2050年の暮らしのイメージ>



【各地域の拠点施設を中心としたコミュニティ形成】
中里地域の湯らぱーくやその周辺に形成される新たな街区、小泊地域のこどもり学園等の各地域の拠点となる施設を中心に様々な人々が集い、コミュニティを形成し、共に助け合いながら暮らしています。



< 凡例 >



【自動運転デマンドバス】
最新の技術を活用したドライバーレスの自動運転バスが町内を縦横無尽に走り出かけた場所へお送りします。



【整然とした街区】
湯らぱーくを拠点とし誰もが住みやすい街づくりに取り組んでいきます。



【スマート漁船】
漁場のビックデータを蓄積活用できるAIを搭載し自動で漁場まで航行してくれる漁船が漁業の生産性を更に高めてくれます。



【貨客混載地域拠点連絡バス】
小泊地域までの荷物をバスと一緒に運ぶ取り組みをより一層推し進め輸送資源の効率化を図ります。



【電動自動運転トラクター】
町内の再生可能エネルギーを活用したAIを搭載した自動運転トラクターが農地を駆け巡り生産性を更に高めています。



【洋上風力発電・波力発電】
洋上風力発電や風車の周りにリング状に取り付ける波力発電を組み合わせることで町が有するポテンシャルを最大限活かします。



【荷物配送ドローン】
外に買い物に出かけられない方々の日々の買い物をサポートするため町内のお店がネットで注文を受け付けドローンが配送します。



【農業用ドローン】
AIを搭載したドローンが農地の売状況に応じた農薬散布等を実施し農業の生産性を更に高めています。



【陸上養殖】
再生可能エネルギーを活用した陸上養殖を実現し漁業経営の安定化と漁業全体の生産性の向上を図ります。



【医療用ドローン】
小泊診療所で行われている遠隔診療で処方される薬等をドローンで患者のご自宅まで配送します。



【水素工場】
町内の再生可能エネルギーを活用した水素工場の稼働により脱炭素を更に推進できます。



【植物工場】
再生可能エネルギーや隣接する水素工場から製造された水素を活用した植物工場を活用しゼロカーボンかつ生産性の高い作物栽培を目指します。

『大地の恵と海の幸』

心ひとつに希望のまち』



中泊町

Nakadomari Town